

**令和3年第6回壬生町議会定例会  
閉会中の継続調査報告書  
(教育民生常任委員会)**

教育民生常任委員会に係る閉会中の継続調査結果をご報告申し上げます。

令和3年第4回壬生町議会定例会において、閉会中の継続調査といたしました、所管における「地域包括支援センターの運用状況について」について、令和3年11月5日及び11月26日の2日間、委員4名出席のもと調査しました経過と結果をご報告申し上げます。

地域包括支援センター事業は、厚生労働省が推進する地域包括ケアシステムを推進する中核の事業であるところ、本町における事業の取り組み状況を調査しました。

まず、健康福祉課から地域包括支援センター事業の概略について、続いて南北両センター長より、現場での取り組みについて説明を受けました。

委員からの、「訪問型・通所型・その他支援サービスの件数は。」との質問に対して、「令和2年度実績で北包括は訪問型が月平均49件、通所型が83件、南包括は訪問型が41件、通所型が91件です。その他の支援サービスとして、つなぐ輪みぶの利用実績が529件です。」との説明を受けました。

また委員からの、「高齢者の生活の維持を図るものの中で最も多い対応は。」との質問に対して、「高齢者の自立支援を目的としてケアが検討されていますが、通所型サービスに繋げることが多いです。最近は周知啓発が進み、つなぐ輪みぶの利用が増えています。」との説明を受けました。

また委員からの、「ケアマネージャーの人数は。」との質問に対して、「町のケアマネージャー連絡協議会所属で61名です。地域包括支援センターの職員で資格保持者は北包括で4人、南包括で6人です。」との説明を受けました。

また委員からの、「団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題にむけて、家族間での話し合いなどへの介入はあるのか。」との質問に対して、「本人の状況や希望に応じて県内外問わず別居の家族と連絡を取りながら対応しています。緊急で家族の介助が必要と判断されれば、状況を説明したうえで協力を仰ぐことがあります。」との説明を受けました。

また委員からの、「地域支えあいサポーター養成講座の状況は。」との質問に対して、「高齢者のちょっとした困りごとを支援する担い手の育成や、地域での“おたがいさま”、“助け合い”の理解促進を目的に平成30年度から実施しています。令和3年度までに合計63名が講座を修了しており、令和3年度は全3回のうちの1回目を10月28日に実施し、15名が参加しました。講座修了者には「つなぐ輪みぶ」の応援会員や、オレンジカフェのボランティア等でご活躍いただいています。」との説明を受けました。

また委員からの、「高齢者以外の問題解決はどのようなか」との質問に対して、「8050問題や引きこもり家族など的高齢分野のみにとどまらない問題は、関係各課・関係機関で連携し、個別地域ケア会議等で対策を検討しながら対応していま

す。災害時避難支援については、身体障害者手帳 1 級・2 級、療育手帳 A1・A2、要介護 3 以上で在宅の方を対象に避難行動要支援者名簿希望申込書兼緊急時避難支援連絡票「個別プラン」を作成していただき、避難行動要支援者名簿を作成するとともに、個人情報の開示に同意いただいた方は民生委員・児童委員と共有して緊急時の避難支援に備えています。」との説明を受けました。

また委員からの、「高齢者虐待防止の啓発及び関係機関向け研修の実施と高齢者虐待の発生件数と、その対応について個別ケース会議からケア会議へ」との質問に対して、「在宅で介護中の家族を対象に家族介護教室の開催を地域包括支援センターに委託しており、その中で虐待防止につながる講座を開催しています。また隔月で介護者サロンを開催し、介護者同士で交流をしたり、専門家からアドバイスを受ける機会を設けたりしています。併せて役場窓口でパンフレットを置いて啓発しています。関係機関向けの研修は、現在定期開催はしていませんので、定期開催されている事業者間の交流・勉強を目的としたときめきネットワークで今後取り扱うテーマとして検討します。」との説明を受けました。

また委員からの、「町と地域包括支援センターとの連携は。」との質問に対して、「基本的な運営方針については、2 か月に 1 回の町と地域包括支援センターとの定例会議等において随時確認し、連携を図っています。」との説明を受けました。

また、委員からの「包括ケアシステムの要であるみぶの会との連携は。」との質問に対して、「地域包括支援センターの職員がみぶの会勉強会に毎回参加しています。在宅診療の先生とスムーズに連携を取ることができ、利用者に必要な支援の提供ができています。地域包括ケアシステム推進協議会で、在宅医療介護連携は、みぶの会を通じて多職種間連携が図られてはいるが、在宅医療に関する理解をさらに発信できれば良い、等の意見が出されました。」との説明を受けました。

以上、教育民生常任委員会の閉会中の継続調査結果報告とさせていただきます。

令和 3 年 1 1 月 3 0 日

教育民生常任委員会委員長 戸崎 泰秀